

平成29年 6月12日～ 14日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 新市長に基本姿勢を問う</p> <p>3月の一般質問で前市長が「新市長に引き継ぐ」と答弁した項目について、市長の所見を問う。</p> <p>①子ども医療費の窓口での無料化について。 ②就学援助制度の入学準備金の前倒し支給について。 ③「海女さん条例」の制定について。</p> <p><市長、教育長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 国民健康保険の県単位化問題について</p> <p>平成27年5月の法改正により国民健康保険は、平成30年度から都道府県が保険者となる時いている。国民健康保険税は今でも最も重い税金として家計を圧迫している。県単位化となれば、国民健康保険税が上がるのではないかと市民は危惧している。そこで以下の諸点について問う。</p> <p>①本市の国民健康保険加入世帯の現状はどうなっているか。</p> <p>②高すぎる国民健康保険税の構造的な問題点はどこにあると認識しているか。</p> <p>③国民健康保険の県単位化とはどのような制度であるか。県単位化により国民健康保険税の構造的な問題点は改善されるのか。</p> <p>④県単位化により本市の国民健康保険加入世帯が直面している課題はどうなるか。</p> <p><市長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 子どもの貧困対策と学校給食無償化について</p> <p>「子どもの貧困対策の推進に関する法律」は、貧困にある子どもの健全な育成環境の整備や教育の機会均等をうたっている。昨年3月会議において市としての取り組みを提起した。</p> <p>その後どのように進展させたのか以下の諸点について問う。</p> <p>①子どもの貧困実態調査の進展状況はどうか。鳥羽の実態を把握したか。</p> <p>②市の「子どもの貧困対策計画」の策定はどこまで進んでいるか。</p> <p>③全国では学校給食の無償化が進んでいるが、鳥羽市の方向性はどうか。</p> <p><市長、教育長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	13番	氏名	尾崎 幹
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 新市長の政策（グランドデザイン・将来像）について</p> <p>リノベーション鳥羽（鳥羽を再び、新しく）についてきく。</p> <p>①市民の皆様は政策について（グランドデザイン）、なんらかの形で説明は行ったのか。（市長と市民の共有化）</p> <p>②政策の柱はあるのか。</p> <p>③今の鳥羽市の経済状況で市民の所得はリノベーションできるのか。</p> <p>④産業別のリノベーションについて。（地域活性化策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 第一次産業の内需、外需の活性化策は。 ・ 第二次産業の内需、外需の活性化策は。（規制緩和策など） ・ 第三次産業の内需、外需の活性化策は。（観光、商業） <p>⑤産業の活性化と人口増につながる策はあるのか。</p> <p>⑥市民の豊かさを追求し実現するための策はあるのか。</p> <p>⑦新規、拡充事業が増えるが、職員の体制は今の職員数で問題はないのか。</p> <p>⑧鳥羽市の土台となる構造改革を考えているのか。</p> <p><市長></p>			

発言通告者	議席番号	4 番	氏 名	山 本 哲 也
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 新市長の基本姿勢について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①木田前市長のもと平成28年を「移住・定住元年」とし、様々な施策に取り組んできた。定住応援・移住応援の取組みについての評価やこれからのビジョンをきく。</p> <p>②中心市街地は今後の鳥羽市の観光やまちづくりを考える上でこれまで以上に重要なエリアであると考えているが、中心市街地の位置づけ、ビジョンについて中村新市長の基本姿勢をきく。</p> <p><市長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 子育て支援について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①すべての子どもが健やかに育つための総合的な対策及び妊娠期から子育て期に渡る切れ目のない支援について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産前・産後サポートにおける妊産婦等を支えるための総合的な支援体制について。 ・子育て世代包括支援センターの取り組みについて。 <p>②子どもの貧困対策の現状と課題について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て家庭の安心・安全を守る福祉医療費の窓口無料化について。 <p>③子どもの貧困対策・ひとり親家庭対策の観点から就学援助の拡充について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準要保護児童生徒に対する対応について。 <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 安心・安全なまちづくりについて</p> <p>大きな被害を出した東日本震災から6年が経ち、震度7の揺れに2度も見舞われ、約19万棟もの住宅が被災するなど未曾有の震災であった熊本地震から1年が過ぎた。そこで以下の点についてきく。</p> <p>①障がいのある人が携帯し、災害時などに緊急連絡先や必要な支援内容を周知する「ヘルプカード」の導入について。</p> <p>②災害時における避難所や病院等でのお湯や飲料確保のための災害協定の推進について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難所において飲料を確保することが重要であるが、災害時に被災者に対して無料で飲料を提供する災害支援型自動販売機がある。災害対応型紙カップ式自動販売機の設置及び災害協定の締結を検討する考えについて。 <p>③地域防災組織の強化について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災士・自主防災リーダー育成の取り組みについて。 ・資格を取得するための助成について。 <p>④AEDの活用について。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市におけるAEDの設置状況について。 ・AED設置場所のマップ作成について。 ・バイスタンダーフォローアップの取り組みについて。 <p><市長及び担当課長></p>			